

自前製品の拡販に向けた知財体制の強化

会社名 有限会社エムエスイー
 所在地 千葉県千葉市稲毛区長沼原町66-1
 従業員 25名
 資本金 500万円
 売上高 2億6,000万円
 業種 制御盤設計、製作、工事 ケーブルアッセンブル等



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 新規事業として、これまで培ってきたソーラー技術を発展させた遠隔監視装置の開発に着手。
- 自社ブランドとして展開していく予定であり、デザインやブランド面での強化が必要な状況。

支援を受けて出来るようになったこと

After

- 自社ブランドとして市場へ投入していくにあたり、必要な出願を実現することができた。
- ビジネスを進めていくにあたり、デザインやブランド面から検討することの有効性を理解することができた。

今後の事業展開の展望

Future

- 必要な出願も実施できたため、事業化をさらに加速させていく。
- 経営者だけでなく、若手従業員を巻き込んだ体制整備にも取り組んでいく。

重点支援を受けた事業や商材



出典:有限会社エムエスイーの提供による

当社は制御盤やケーブルアッセンブリー等について、顧客から高い評価を受けているほか、ソーラーシステムについても多くのノウハウを有している。

令和2年度千葉市産業振興財団産学共同研究促進事業に採択され、千葉工業大学と共同で太陽光発電で通信可能な遠隔監視装置の開発に着手。今後はこの事業化に向けて取り組んでいく。

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略および知財戦略の構築	自社ブランド商品を事業化していくにあたり、事業戦略および知財戦略の構築が必要な状況である。
共同開発の留意点確認	共同開発に取り組んでいるテーマについて、成果の取扱い等の考え方を理解しておく必要がある。
デザイン力強化	自社ブランド商品を市場へ投入していくにあたり、デザイン面からの検討を入念に実施しておく必要がある。
ブランディング	自社商品を出していくことになるため、ブランディングの考え方を知っておく必要がある。
社内規程整備	社内規程の整備に取り組むことによって、全社的に知財意識を高めておく必要がある。

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業・知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> 自社商品の知財性を有する部分について、特許・意匠・商標出願を実施。 	弁理士 中小企業診断士
デザイン検討	<ul style="list-style-type: none"> ターゲット選定やマーケットイン思考を理解。 そのうえで、具体的なデザイン開発に至り、意匠出願を実施。 	デザイナー
展示会活用	<ul style="list-style-type: none"> 自社商品PRの一環として、展示会出展を実施。 出展コンセプトを明確にすることの重要性を理解。 	デザイナー
社内規程整備	<ul style="list-style-type: none"> 上記活動を支える仕組みとして、職務発明や営業秘密管理に関する規程整備が必要であることを理解。 	職務発明規程専門家

支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士 中澤 俊彦

活用専門家: デザイナー、弁理士、職務発明規程専門家

知財総合支援窓口担当者: 千葉県知財総合支援窓口 斎藤 廣志

PO(プログラムオフィサー): 石黒 一夫